

令和6年度 第2回浄水地域会議 会議録

■ **日時** 令和6年6月12日(水) 午後7時 ~ 8時

■ **場所** 浄水交流館 大会議室

■ **出席者**

<委員>	石川 須美子	石崎 里美	勝野 房則
	加藤 耕助	久世 正敏	桑原 正明
	佐竹 修	成瀬 博文	三浦 律夫

<交流館> 水野 小百合(浄水交流館 館長)

<事務局> 杉浦 智文(地域支援課 課長) 田嶋 優俊(地域支援課 担当長)
伴 悠平(地域支援課 主査)

■ **内容**

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 浄水地域の課題の洗い出しについて
- 4 連絡事項
(1) わくわく事業の2次募集について

■ **議事内容(要約)**

3 浄水地域の課題の洗い出しについて

2グループに分かれて地域の強みと弱みを抽出し、属性ごとにグルーピングする作業を実施。終了後、各グループが成果物を掲示して発表を行った。内容は別紙のとおり。

4 連絡事項

(1) わくわく事業の2次募集について

浄水地域のわくわく事業の2次募集は実施しないことについて、事務局から説明した。

■ **今後の予定**

令和6年度第3回浄水地域会議

7月10日(水) 午後7時 ~ 浄水交流館大会議室にて

<発表内容>

●Aグループ

<強み>

- ・病院や宅地、道路が整備されている。
- ・中学校と交流館が併設されており、連携しながらボランティア活動等が盛んに行われている。

<弱み>

- ・交通手段が不足している自治区があり、その地域は高齢化が進んでいるため、免許返納を見据えた公共交通の整備が必要である。
- ・自治区の人口、年代のバランスに大きく差があるため、5自治区を3自治区程度に減らすとともに、人口や年代のバランスを平準化させるなど、自治区の再編を検討すべきである。

●Bグループ

<強み>

- ・交流館祭りのイベント等、中学校との連携が多く、若い世代の力に期待ができる。
- ・公園が多く、子育て世代に住みやすい地域である。

<弱み>

- ・若い世代が多い自治区がある一方で、高齢化が進行している自治区もある。
- ・鉄道会社との連携が不足している。
- ・地域に交番がなく、防犯力が弱い。
- ・恵まれているがゆえ、若年層の地域課題の意識が低い。